

看 護 に い が た

Vol.
147

公益社団法人 新潟県看護協会機関誌

令和3年
8月20日発行

特集

新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

「新潟市におけるコロナワクチン集団接種の取り組み」について⑧
軽症者宿泊療養施設健康管理／自宅療養者の健康観察⑨

- 2 | 会長挨拶
- 2 | 令和3年度 春の叙勲受賞
- 3 | 令和3年度 看護協会役員・職員の紹介
- 4 | 令和3年度「新潟県看護協会通常総会」
- 5 | 職能集会報告
- 6 | 令和3年「看護の日事業」
- 7 | スペシャリストたちの挑戦
- 8 | [特集]新型コロナウイルス感染症対策の取り組み
- 10 | ワーク・ライフ・バランスの推進・魅力ある職場づくり
- 11 | ナースセンターからのお知らせ
- 12 | お知らせコーナー

新潟県看護協会会員数（7月20日現在）

◎会員総数 15,853 名 保健師 798 名 / 助産師 591 名 / 看護師 13,919 名 / 准看護師 545 名

会長挨拶

公益社団法人新潟県看護協会
会長 斎藤 有子



会員の皆さまには、日頃より看護協会の活動及び事業運営にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しがみえない状況が続いている中で、医療、保健、介護、在宅等の最前線において、感染のリスクの不安を抱えながら看護に懸命に取り組まれている多くの看護職の皆さまに敬意を表します。

令和3年度新潟県看護協会通常総会は、6月16日に新潟グランドホテルで開催しました。昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、規模を縮小しての開催となりましたが、提出しました議決事項全てを承認いただくことができ、感謝申し上げます。

社会情勢を踏まえ、本会の使命である「看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を基に、看護職としての役割を積極的に担うため、重点目標を掲げ事業を展開します。

令和3年度新潟県看護協会の重点目標は、「健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築」「看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進」「看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成」「看護施策を推進するための組織基盤の強化」の4つです。

中でも、今年度は会員サービス向上に向け、

会員のニーズ把握及びICTの導入等を実施し、協会活動に参加しやすい環境の整備を目指します。さらに災害や健康危機管理対応への社会的要請に応えるため、災害支援ナース活動等の充実及び専門性の高い看護職の育成を進めます。

今、看護職には医療機関での看護、地域で療養されている方への看護、地域住民に対する保健活動などに加え、地域で暮らす全ての人々を支える健康な社会の醸成にも力を発揮することが求められています。

同時に、コロナ禍は看護の活躍に社会が目を向ける機会ともなりました。この機会を捉えて、看護の役割、価値をしっかりと社会に示していかなければなりません。

今後の社会状況における保健、医療・福祉へのニーズを見極めてそれに応えていくこと、さらに生産年齢人口の減少により、看護の担い手を確保することが喫緊の課題です。多くの方に看護の仕事に関心を持っていただき、次世代の多くの方が看護の仕事に就いてくださるよう、看護の魅力の発信に努めるとともに、看護職が誇りを持ち、安心して働き続けることができるよう協会活動の更なる充実に努めてまいります。

会員の皆さまと一緒に考え、ともに取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

令和3年度 春の叙勲受賞おめでとうございます。

◆ 瑞宝双光章 受賞 ◆

佐藤 富貴子 氏

(元 新潟大学医歯学総合病院 副院長・看護部長)

◆◆◆◆ 令和3年度 看護協会役員・職員の紹介 ◆◆◆◆



役員

左から 五十嵐副会長 渡邊副会長 青柳常務理事
太田専務理事 辻常務理事 五十嵐常務理事

渡邊副会長及び辻常務理事が新しく就任し、令和3年度の体制がスタートしました。
私達は会員の皆様の協力の下、まだ予断を許さないコロナ禍において、其々が担う役割を果たしていく事と、状況に応じた会議あるいは研修スタイルをお届けしたいと考えております。皆様と顔と顔の見える関係を大事にして、より一層の連携の強化をして参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



訪問看護推進課

左から 石附 今出 竹内

訪問看護に関する研修の企画運営、訪問看護ステーションに対する支援事業を行っています。研修は、訪問看護の新人者から管理者対象と幅広い内容を計画し、支援事業では随時対応する電話相談、現地に伺っての運営アドバイザー事業や訪問看護師育成サポート研修などがあります。ぜひご活用ください。



教育研修課

左から 立川 青木 岡田 渡辺

年間の教育研修、認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル、臨地実習指導者養成講習会（毎年、ただし教員研修が開催された年は閉講）、看護教員養成講習会（3年に1回）の企画・運営を行っています。

皆様のニーズを把握し、日々の看護実践とキャリア開発に繋がるようにと考えています。皆様の参加をお待ちしています。



ナースセンター課

後列 左から 小田 伊藤
前列 左から 本間 倉島 小林

ナースセンターは、看護職の定着・確保の「総合拠点」になることを目指して、看護職の様々な悩み、就職相談に応じています。また、復職に不安のある看護職のために、各種研修を実施していますので、お気軽に来所・ご相談ください。



長岡支所
安斉・高梨



上越支所
徳永・渡辺



南魚沼
相談窓口
高野



柏崎
相談窓口
坂井

総務課

玄関ロビーにサーマルAIカメラを設置しました。来館の際はご利用ください。

10月には、次年度の入会の更新が始まりますので、変更等登録に関する手続きはお早めに、お願いいたします。



令和3年度「新潟県看護協会通常総会」

2021年6月16日、新潟グランドホテルにて、通常総会が行われました。COVID-19の影響から、例年400名程度の参加者にて実施していた総会が、昨年は役員の参加で20名程度で、今年は各施設代表1名の制限で85名が集まりました。昨年度の各活動報告と次年度案は、滞りなく議決され、他に今期で満期終了となる役員を代表して、新潟大学医学部保健学科の定方恵美子さんの挨拶もありました。また、長年、新潟県看護協会にご尽力頂きました、元新潟県看護協会会長の長部タミ様の表彰等もありました。

会場となりました、新潟グランドホテルでは、参加者の感染対策として検温と手指消毒、アクリル板の設置等のご配慮をいただきました。



会長あいさつ



おめでとうございます

日本看護協会名誉会員 長部タミ氏

長部タミ様 令和3年度日本看護協会名誉会員に決定しました。
看護の資質向上、協会活動の発展に対して多大なる貢献をされた長部タミ様が令和3年度日本看護協会通常総会において日本看護協会名誉会員に決定しました。心からお祝い申し上げます。



保健師職能委員会

保健師職能委員長 星野 明子

令和3年度の保健師職能の活動方針は、例年の方針を一部改正し、(1)それぞれの立場で地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進する。(2)災害や感染症などの健康危機管理能力の向上を図る。(3)どの所属にいてもネットワークを拡げ、保健師の専門性を発揮できるとしました。



職能集会の様子(WEB)

そこで、職能集会では、活動方針に基づき「それぞれの立場で地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進する～ACPを地域へ～」と題して岩手県北上市福祉部長寿介護課包括支援係主任保健師、住吉香奈子氏から御講演いただきました。WEB開催としたこともあり、地域包括支援センターに所属する非会員の保健師からも多数の参加がありました。

今年度の主な事業としては、保健師情報交換会を9月25日(土)に「地域包括支援センターにおける保健師の役割」をテーマに開催するほか、10月19日(火)には、保健師研修会を計画しており、国立保健医療科学院健康危機管理研究部上席主任研究官 奥田 博子 先生から「自然災害時に保健師に求められるジェネラルな能力」について御講義いただく予定です。会員の皆様には、是非御参加くださるようお願いいたします。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 佐藤 志津子

昨年度は新型コロナウイルス感染症の為に、予定していた助産師職能委員会主催の研修会は全て中止となりました。令和3年度は、オンラインによるWEB研修等を活用して開催することとしています。沢山の方々に参加してもらえようような研修会にしていきたいと思います。

令和3年6月16日に助産師職能集会が開催されました。昨年度開催内容を検討する中で、「今自分たちが行なっている産後ケアがお母さんたちの望んでいるものだろうか?」という自問自答からの研修テーマとなりました。助産師ではない女性が

確立したバースコンシェルジュ(産科・不妊治療知識を持った医療接遇のプロ)の業務を通して、医療者(助産師・看護師)としての医療接遇を学ぶことができました。そして安全な医療提供とともに接遇力、コミュニケーションスキルを磨き、提供することで、お母さんとの人間関係の構築という原点に戻ることができました。これは研修受講後のアンケート内容からもうかがい知ることができました。私も助産師職能委員長として、忙しい現場で助産師が専門職としての役割を発揮できるよう関係機関と協力していきたいと感じました。

看護師職能 I・II 合同集会報告

看護師職能II委員長 河内 学

今年度の看護師職能 I・II 合同集会は新型コロナウイルス感染症対策で参加人数を絞り会場開催となりましたが、対面で実施することによる「伝わりやすさ」を改めて実感した会でした。

特別講演では、行政書士 高橋 正芳氏による「人生のしまい方・終活のすすめ」と題し講演いただきました。地域包括ケアや終末期における対象者や対象者にとって大切な方々への支援やACPなど看護職が抱える課題がある中、成年後見制度や相続に携わる業種の視点や支援のあり方を理解することで、より多角的な捉え方ができることをねらいとしました。参加者からは、参考になった、役に立つ等の意見があったほか、癒された・楽しかった、自分の人生について考えることができた等の意見もあり、コロナ禍の中で、看護職が

抱える疲弊感や閉塞感が垣間見られました。改めて、看護職のメンタルヘルスの重要性を認識するとともに、支援に向けた活動も必要であると考えました。



行政書士 高橋正芳氏

令和3年「看護の日事業」

受賞者の皆様、栄えある受賞おめでとうございます

〈令和3年度看護業務功労者新潟県知事表彰〉

受賞者 大 口 洋 子 様 (新潟県立看護大学)
小野塚 良 子 様 (元 十日町市役所)
名 畑 邦 子 様 (元 佐渡市役所)



〈令和3年度優良看護職員新潟県看護協会長表彰者〉

受賞者 152名



高校生 1日看護師 体験発表

感染対策のため、事前収録による発表が行われました。

3名の高校生から学びの発表をしていただきました。貴重な体験発表をありがとうございました。

コロナ禍で大変な中、ご協力いただきました施設の皆様に深く感謝申し上げます。



市民公開フォーラム

特別講演

〈テーマ〉「いくつになっても、
認知症になってからも、自分らしく」
～これからの生き方・支えあい方～

〈講師〉永田 久美子 様

認知症介護研究・研修東京センター研究部部長

Zoomによる講演会が開催されました。
会場またZoom参加者から質問や意見があり、貴重なお話をお聞きすることができました。

2021年度「看護の日」事業
～みんなで支える社会～
「誰もがその人らしく暮らせる町をめざして」
生きるを、ともに、つくる



(と き) 2021年5月13日(木) 13:00～
(と ころ) 新潟グランドホテル

訪問看護ステーションにおける 緩和ケア認定看護師の取り組み

下越訪問看護ステーション

緩和ケア認定看護師 川俣 玲子

認定看護師 になった 経緯

看護師になりまだ間もないころ、最期に自宅へ帰りたいと希望された高齢独居のがん終末期の患者さまの外出に同行させていただきました。外出に合わせ遠方から帰省したご家族と自宅で過ごすわずかな時間のなかでしたが、病室での様子とは違い主体的にご家族と関わる姿、穏やかで安心した表情は今でも忘れられません。最期の時間が穏やかであると私たち看護師は行ったケアを肯定でき穏やかな気持ちでお別れができます。しかし、日々の看護実践のなかでは辛さを抱えた患者さまとの向き合い方に悩み、自分の無力さに気づき自責の念を抱きコントロールしにくい感情となる場面は少なくありません。そんなときに先輩看護師に誘われて有志でおこなっていた学習会等で学びを深めてきたのが緩和ケアでした。辛さを和らげ最期までその人らしく過ごすための支援者として実践力を高めたいと思い認定看護師を目指しました。教育課程ではそれまでの私の看護を振り返り見つめ直す機会となりました。専門的知識の学びと6か月間ともに学んだ仲間の存在は私の大きな力となっています。

現在の認定 看護師とし ての仕事

緩和ケア認定看護師として病棟から訪問看護ステーションへ異動となり在宅療養支援に携わっています。あらためて思うことは、療養者と療養者を支える家族は生活者であること、特にがん終末期において療養者は急激な体調の変化を感じ気持ちがざわつきながらの生活となります。家族は療養者の身に起こる様々な症状への対応が強いられ生活スタイル

を変化せざるを得ない状況が起こります。療養者や家族の揺れ動く気持ちに寄り添い生きる力、支え合う力を支持し、両者のQOLが守られるよう最善を考える過程を大切にしながら意思決定を支え、医療と生活両方の視点で病院や地域の医療・福祉・介護スタッフと連携しています。

病院内では多職種専門職のチームメンバーと共に専門的な知識と技術を共有しコンサルテーション活動を行っています。緩和ケアチームでの回診を行っており、症状コントロールや外出・外泊支援、スタッフの悩みなどに対応しチームアプローチを強め苦痛緩和に取り組んでいます。また、ステーション内、病院内で学習会を行い緩和ケアについての知識を広めていけるように努めています。

今後に 向けての 思い

最期を自宅で過ごしたいと思う一方、生命を脅かす疾病を抱えながらの在宅療養に不安を強くもち戸惑う方は多くいます。在宅療養者は暮らしの中で役割が再構築され心身の安寧を取り戻し主体性が強まる様子がうかがえることが多くあります。死が避けられない状況のなかでもその人にとって豊かさを感じられる時間を過ごしていただくために、病院と地域をつなぎ切れ目のない緩和ケアの提供ができるよう取り組んでいきたいと思っています。



「新潟市におけるコロナワクチン集団接種の取り組み」について

広報委員長 伊藤 恵



新潟市保健所保健管理課コロナワクチン接種推進担当課長の明間 研さんに、集団接種の現状についてお話を伺いました。

Q 集団接種の運営はどのように行っていますか？

A 新潟市保健所は、全体の企画・調整を行っています。実際の会場運営は、運営会社に委託しており、中央区・東区・北区・江南区はディモルギアに、西区・西蒲区・南区・秋葉区はダスキンにお願いしています。その会社には、全体運営で、受付・誘導といった事務的なことをしてもらっています。

Q 集団接種会場にはどれくらいの看護師が派遣されているのですか？

A 医療機関や医師会に依頼し、1会場で8名ずつ、6月上旬で延べ1500人の看護師さんに協力を頂いています。

Q 派遣される看護師の役割が、ワクチンの充填と筋肉注射がありますが、ワクチンの充填を薬剤師でなく看護師に依頼されているのはなぜですか？

A 薬剤師さんの中で注射器の取り扱いに慣れていない方が少ないため、看護師にお願いすることになりました。

Q 接種会場では、1日当たりの接種者数を250人と少ないのではないかと、という声もありますが、これ以上の人数を接種していくことが難しいのでしょうか？

A 医師の方からも、どんどん進めていきたいということをお話していましたが、ワクチン接種者の待機場所の確保と観察、という会場のスペースに応じて現状の人数になっています。

Q 接種を受ける対象者のうち、どれくらいの人数がワクチン接種を終えているのか、進捗状況はどのようにわかりますか？

A 新潟市のホームページに週1回更新して随時情報提供を行っています。

Q ワクチン申し込みにはインターネット回線と電話受付がありますが、電話がなかなか通じないと聞きますが、どれくらいの回線数で行っているのですか？

A 現在（6月上旬）、100回線 70台の電話機で対応していますが、6月下旬には100台の電話機で対応する予定です。

Q 大規模接種会場でのワクチン接種も行っていますが、今後の計画を教えてください。

A 新潟市としては、地区センター6会場の他に、産業振興センター、旧豊栄地区公民館を平日に行います。今後さらに、大規模接種を企画して実施していく予定です。

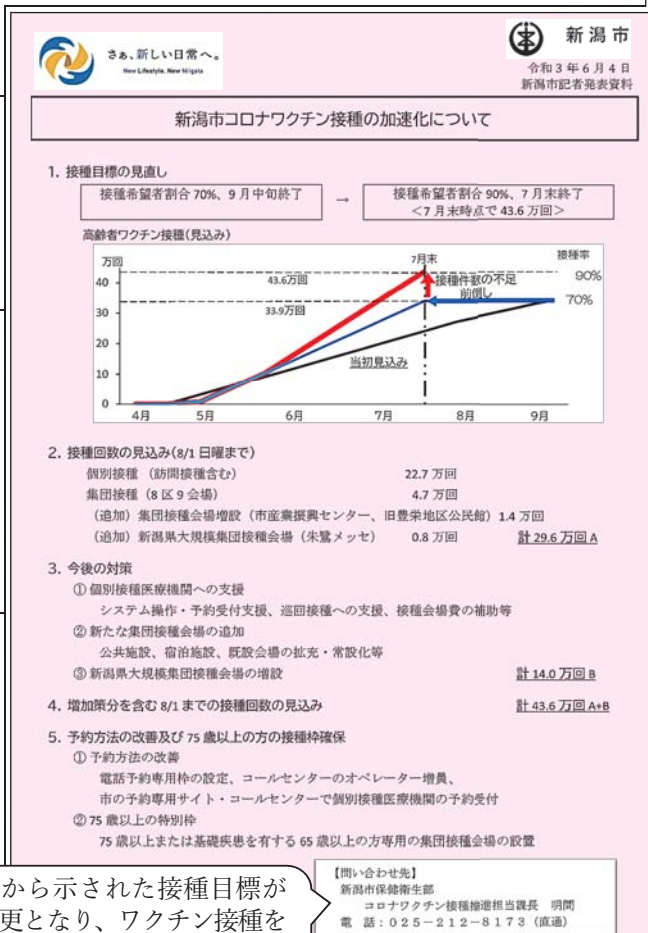
Q 新潟朱鷺メッセを会場にして行っているものや、企業や大学での実施についてはどのように進めていくのですか？

A それらは、県が主体で行っています。1000人規模の企業職員や大学生にむけた接種は、職域接種として健康診断に合わせて実施する方策で、これも県が主体で進めています。新潟市はあくまでも地域の住民が自宅の近くで接種できるというメリットを活かして進めていくことを主としています。

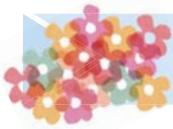
Q 新潟県看護協会の看護職に伝えたいこと、期待したいことは何ですか？

A これからもいろんな形でワクチン接種を増設していく予定です。個別接種の医療機関にも、場所の提供・費用の負担など支援の拡充を行っていきます。看護師さんの中でも、ワクチン接種に慣れていない、接種方法がわからないといった方々もいらっしゃいます。関心を持ってご協力していただけたら幸いです。

※このインタビューは、6月7日に行ったものです。



国から示された接種目標が変更となり、ワクチン接種を加速化し、接種スケジュールを大幅に変更しました。



軽症者宿泊療養施設における健康管理業務に従事して

新潟県医療調整本部宿泊療養確保グループ 浅川 淳子

2021年4月から新潟県の医療調整本部宿泊・自宅療養等確保グループで勤務しています。軽症者宿泊療養施設で働く看護師と夜間健康管理業務を担っている訪問看護ステーション看護師の連絡・調整が主な仕事です。

私自身も1月から3月まで宿泊療養施設での日中の健康管理業務に就いていました。

ホテルで療養する方は、想像以上に様々な不安や自責の気持ちを抱いて療養されています。その方々の不安を和らげ安心して安全な療養生活が送れるよう、支援するのが宿泊施設の看護師の役割です。

療養者とのコミュニケーションは、携帯電話で行わ

れ、症状の把握は、療養者からの訴えや話の中から判断しなければなりません。

そのため看護師は、判断に誤りがないかと不安やジレンマを抱えながら勤務しています。そのような看護師が少しでも働きやすい環境を整えることも自身の役割と考えています。

具体的には勤務表の作成や勤務調整、職務上の相談や問題への対応、コロナに関する情報提供などを行っています。

ワクチン接種が順調に進み不安なく日常が送れる日を願って止みません。

軽症者宿泊施設健康管理業務担当看護師 飯吉 則子

私は、2020年10月からこの仕事に携わっています。

今までに経験したことのない仕事であることと、感染のリスクは無いの？と不安もありましたが、このコロナ禍で看護師の資格を活かせる事に何よりも心が動き、勤務を希望し9ヶ月が過ぎようとしています。

新型コロナウイルスに感染された方は、想像を超える不安を抱えて入所されます。

そのような方々の症状を電話で聞き取りながら状態把握をし、担当医と県本部に報告をすることが主な業務です。

私が心がけている事は、症状の把握と異常の早期発

見は勿論ですが、不安の声に優しく耳を傾けること、不安を共感し、心の内を吐き出せることです。話をしている中で明るい声を聞いた時にはホッとし、不安の解消に繋がったと考えています。

看護師間での情報共有と連携もとても大事で、意見交換や反省会を繰り返し、情報共有ノートを作成しています。また他職種の方々とのコミュニケーションや関係作りにも心がけています。

今、この仕事は大切な役割があると考えていますので、今後も看護師としての経験を活かし役に立てるよう頑張りたいと思います。

軽症者宿泊施設健康管理業務担当看護師 武田 和子

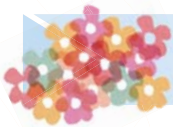
新型コロナ感染症軽症者宿泊療養施設の従事について、新潟県看護協会からお話を頂き、今、看護職として自分ができる事と思い、迷うことなく受けました。昨年9月から新潟市のホテル、今年6月からは県央のホテルで従事しています。

主な業務は、療養者の健康管理及び健康面での相談対応と業務に従事するスタッフに対する感染防護対策の指導です。健康管理業務は、電話で健康状態の聞き取りと意見を聴き必要により助言をし、結果を担当医

と県医療調整本部に報告することです。

「手で触れ、目で観る」看護の形とは異なりますので軽症者とはいえ容態が急変しないかなどの不安があることは否めません。そして私達以上に療養者の方々の不安は大きいことは言うまでもありません。少しでも療養者の力になりたいと考えています。

今後も療養者の方々の気持ちに寄り添い安心して療養できることを願いながら従事してまいります。



自宅療養者の健康観察業務に従事して

自宅療養健康観察等業務担当看護師 落合 美雪

看護協会の派遣で県の医療調整本部自宅療養グループで働き始めて5ヶ月が経ちました。電話での療養者の健康観察と、その結果を踏まえての保健所との連絡をとること等が主な仕事です。当初数人だった自宅療養者は4月に入り急増し連休明けがピークでしたが、現時点（5月末）は感染者の減少に伴い減少傾向です。最近では変異株の影響から自宅療養中の急変や緊急入院も増え、電話での観察の難しさを感じています。また、家庭内での感染拡大、子どもの世話や親の介護で入院

したくても出来ない等、対応を要する問題は多岐に渡ります。メディアで報道される情報は一部に過ぎず、実際に現場で働いていると様々な厳しい状況、自宅療養の大変さを目の当たりにします。決して他人事ではなく、もし自分が感染したら、と思いながら電話の向こうの患者さんが安全に過ごすことができ、体調悪化時には迅速に治療が受けられるよう日々の対応にあたっています。

ワーク・ライフ・バランスの推進・魅力ある職場づくり



夜勤に関する一モデル

新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター 宮澤 直子

・勤務間インターバル確保に向けての試み

1. 夜勤体制

1) 2交代制：慢性期・回復期の病棟

日勤 8時半～17時

夜勤 16時半～9時

3交代制：急性期の病棟

日勤 8時半～17時

準夜 16時半～1時

深夜 0時半～9時



2. 夜勤の現状

逆循環夜勤であり、勤務間インターバルが取れていない状況

3. 取り組み

1) 正循環夜勤シミュレーションの試み

・過去に、正循環夜勤を数か月にわたりシミュレーションしたが以下の意見に分かれた。



(1) やってみてどうだったか？

① 正循環が良い (理由)

- ・何もつかない (前後に夜勤なし) 公休がとれる
- ・準夜と深夜の間が近いので、患者さんの情報がわかりやすい
- ・夜勤に入りやすい

② 正循環が良いと思わない (理由)

- ・準夜明けに寝られないのですぐの深夜がきつい (子供の送迎とか夕食の準備など)

2) 正循環と逆循環勤務のミックス

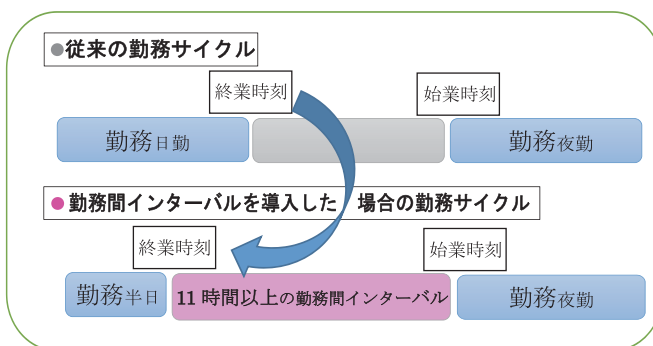
- ・正循環では、公休が丸々取れて良い、という意見がある一方で、小さなお子さんがいる看護師は準夜明けの休みに保育園や学校の送迎や、夕食の準備などをしてしていると休む暇もなく、その晩に深夜をすることになるので逆に疲れる、という意見があった。ワークライフバランスの視点で考えると、環境・年代・家族の協力などの条件の違いによって、正循環夜勤に対する意見が割れるので、正循環が良い人と逆循環が良い人、

それぞれの意見を取り入れたミックスでの勤務作成をとっている。しかし、現状としては逆循環勤務が殆どである。

		10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6
逆循環	〇〇良子	半日	深夜	準夜	公休	公休	日勤
正循環	△△美	日勤	準夜	公休	深夜	公休	公休

3) 勤務サイクルの工夫…夜勤前の勤務を日勤から半日へ

- ・他の方法で11時間以上の勤務間インターバルの確保の検討がされた。厚生連全体での取り組みとして夜勤前の日勤勤務を半日勤務へ変更することでインターバルの確保が可能となった。



4. 課題

深夜勤務前の半日業務の導入は、十分な生活時間や睡眠時間の確保につながった。しかし、一方では休息のための休みより活動のための休みが欲しいという意見もある。夜勤前は休んだ気がしないので夜勤明けにより多く連休を充ててくれた方が良いという意見もあれば、日勤続きは疲れるから単発の休み (夜勤のつかない休み) が欲しいなど、休みに対する要望は様々である。

又、働き方改革として時間内に研修会や会議などを組み込むために日勤希望が多くあることや、各種休暇取得などで、シフトを組む職場長は四苦八苦している状況である。

勤務間インターバルの実現とスタッフの希望を取り入れたシフトの両立をしていくためには、十分な看護職員の確保と共に定時退社に向けた業務の効率化が必要と考える。

患者の安全が確保され、看護職員が健康で働き続けられる夜勤・交代制勤務の実現をめざし、現場の声に向き合い、組織分析と問題改善に取り組んでいきたい。

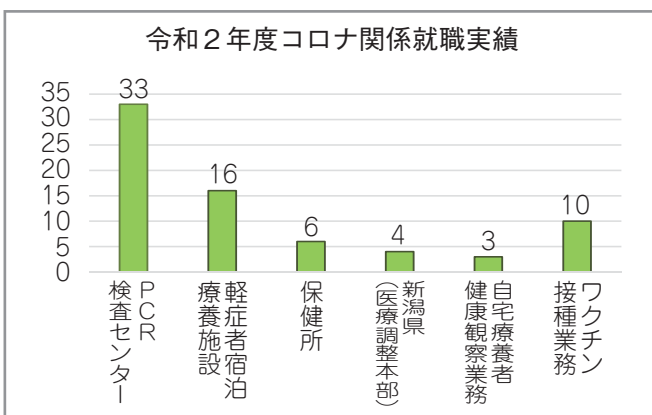
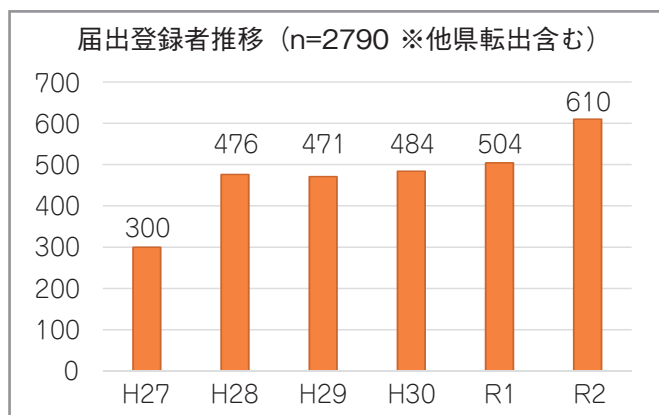


ナースセンターからのお知らせ



新型コロナウイルス感染症に対する就業支援

新潟県ナースセンターでは、新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員の確保のため、ナースセンターへのご登録を呼びかけ、令和2年度は届出登録者数が前年度より大幅に増えました。届け出ていただいた潜在看護職の方を中心に、これまで「地域外来・検査センター」や「軽症者宿泊療養施設健康管理業務」「自宅療養者健康観察業務」「ワクチン接種業務」など様々な場所での就業を支援しております。引き続きより多くの潜在看護職の方に復職していただけるよう、支援を継続していきます。



看護師等の離職時の届出制度 ～離職される看護職の皆様へ届出のお願い～

「看護師等人材確保の促進に関する法律」の改正により、離職時等に保健師・助産師・看護師・准看護師の免許保持者がナースセンターへ自身の情報を届出することが**努力義務**となりました。

届出対象者

- ◇病院等を離職する看護職
(病院等とは、病院、診療所、助産所、訪問看護事業所、介護老人保健施設が含まれます)
- ◇保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
- ◇免許取得後、ただちに就業しない場合
- ◇看護職の資格をおもちで看護職以外の仕事に就いている方

新潟県ナースセンターは、就職相談や再就職支援セミナーなど、届出された看護職の方のライフサイクルにあわせて、きめ細やかな支援を行います。登録は「とどけるん」で検索または下記QRコードから↓

「とどけるん」は、個人でインターネット経由した届出をすることを原則としています。届出したあとは、離職した看護職が「またいつか働きたい!」をナースセンターがサポートします。**届け出た内容はあなたの情報です。**届出内容に変更があるときは、ナースセンターに連絡をお願いします。



【お問合せ先】
新潟県ナースセンター
TEL: 025-233-6011
E-mail: niigata@nurse-center.net

思春期保健相談士を目指すあなたを新潟県看護協会が応援します!

新潟県看護協会では思春期電話相談員の増員に向けて日本家族計画協会が主催する「思春期保健セミナー」の研修受講を支援します。

- 【対象者】 ①新潟県看護協会会員であること、②思春期保健相談士の資格認定後に新潟県看護協会の思春期電話相談員として活動していただける方
- 【負担額】 3万円、お申込順で年度あたり2名まで本協会が負担します。
- 【お問い合わせ】 研修や申込等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

公益社団法人新潟県看護協会 電話 025-265-1225



お知らせコーナー

「ナースシップ」より

登録内容に変更があった場合は、下記のいずれかの方法で届出をお願いします。

- ① キャリナースから届出。
- ② 「会員データ変更届」(新潟県看護協会HPよりダウンロード可)を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAX
- ③ 所属変更により会費納入方法が口座振替になる方は、「都道府県看護協会・日本看護協会入会申込書/会員情報変更届」または「キャリナース」より口座情報の登録をお願いします。

次年度の継続のお知らせは、9月のデータを基に作成されます。

大切なお知らせがお手元に届かない事がないよう、届出をお願いいたします。

※キャリナースURL <https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>



訪問看護従事者研修会(管理編)～キャリアアップコース～

- ねらい 訪問看護管理者に必要な知識・技術を学び、安全で質の高い訪問看護のあり方を考える
- 期 間 令和3年8月28日～12月4日 全6回 ・全て公開講座があります
- 申 込 全日程については終了しておりますが、公開講座はお受けいたします

在宅看護(退院支援)研修会

- ねらい 病院診療所、訪問看護ステーション等に勤務する看護職員が、在宅で継続した医療看護サービスを提供できるように知識・技術を学ぶ
療養者および家族が安心して退院できるような支援方法を学ぶ
- 期 間 令和3年10月9日～12月11日 全6回 (うち2回は訪問看護ステーションにおける実習)
・実習以外は公開講座があります
- 申 込 令和3年8月1日～15日



*両方ともに、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により、Zoomによる研修を行います
募集人数は、集合研修受講者の人数を示しており、Zoomの場合は定員を超えてもお受けできます
*詳細につきましてはHPをご参照ください

教育研修

【教育研修】下記の研修は日程を変更します。

研修名	開催日程
施設内研修企画に必要な基礎知識	2日目の日程変更 2021年8月26日(木)⇒9月1日(水)
新潟県委託事業 新人看護職員研修における教育担当者研修	2022年1月26日(水) 2月8日(火) 2月22日(火) *看護協会日より第146号で2月8日・2月15日・3月1日と案内いたしました が、上記のように訂正いたします。

【医療安全研修】

研修名	開催日程
医療安全管理者養成研修 *日本看護協会 オンデマンド研修(35時間)を修了された方が受講対象となります。	2021年10月29日(金) 演習を含む集合研修(5時間)
新潟安全ネットワーク支援研修 医療現場の安全力を高めよう ～組織における医療安全活動のすすめかた～	2021年10月5日(火)

令和3年度新潟県看護協会看護学会は開催されません

「第52回日本看護学会学術集会」は朱鷺メッセで開催予定でしたが、Web開催となりました。

2021年2月～2021年7月

新館図書

1	特養あずみの里裁判を考える Nursing Todayブックレット編集部 編 日本看護協会出版会
2	訪問看護を支える在宅ターミナルケア 一般社団法人全国訪問看護事業協会 編 日本看護協会出版会
3	「暮らしの保健室」ガイドブック 相談/学び/安心/交流/連携/育成の場 秋山正子 監修 神保康子・村上紀美子・森さとし・米澤純子 企画・編集 日本看護協会出版会
4	患者と医療者の退院支援実践ノート 本間 毅 著 遠見書房
5	新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート 日本看護協会出版会編集部 編 日本看護協会出版会

6	看護法令要覧 令和3年版 勝又浜子・加藤典子・清水嘉子・森山弘子 編 日本看護協会出版会
7	2021年版 看護職の基本的責務 定義・概念/基本法/倫理 手島 恵 監修 日本看護協会出版会
8	格差時代の医療と社会的処方 病院の入り口に立っている人々を支えるSDH(健康の社会的決定要因) 武田裕子 編 日本看護協会出版会
9	ナインゲールの越境3 ジェンダー・ナインゲールはフェミニストだったのか 河村貞枝・出島有紀子・岡田美・喜多悦子・矢口明美・佐々木秀美・五十嵐清 著 日本看護協会出版会
10	「コロナ」と「看護」と「触れること」 波平恵美子・田辺けい子 著 日本看護協会出版会
11	外れで始める在宅療養支援 ニーズ把握と実践のポイント 永田智子・田口敦子 編著 日本看護協会出版会

12	令和2年 看護関係統計資料集 日本看護協会出版会 編 日本看護協会出版会
13	エンド・オブ・ライフ期における皮膚障害のケア 祖父江正代 編 日本看護協会出版会
14	認知症plus コミュニケーション 怒らない・否定しない・共感する 大庭 輝・佐藤真一 著 日本看護協会出版会
15	認知症plus 意思表示支援 長江弘子 監修 原澤のぞみ・高敷子・岩崎孝子 編集 日本看護協会出版会
16	認知症plus 院内対応と研修 小川朝生 編 日本看護協会出版会
17	アセスメントフローで学ぶ パーソン・センタード・ケアに基づく急性期病棟の高齢者看護 鈴木みずえ・金盛琢也 編 日本看護協会出版会

■発行:公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2-11 TEL025-233-6550 FAX025-266-1199
<https://www.niigata-kango.com/>
■編集:広報委員会



編集にあたり多くの皆様にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。これからも会員の皆様のためになる情報をお届けするとともに、より親しんでいただける機関誌作りを目指します。

広報委員:伊藤/川口/西潟/神田/大堀/植木 koho@niigata-kango.com